

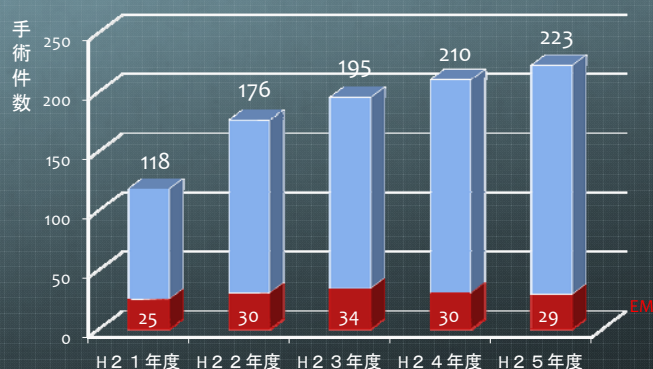


6年目を迎えて(5年間を振り返って) 外科からのご挨拶とご報告

2009年4月に当院外科に着任してから、この2014年4月より6年目を迎えることになりました。着任してからの5年間を振り返ってみますと、1年目に118件であった手術症例も徐々にではありますが年々増加し、昨年は223件(うち低侵襲鏡視下手術61件)となり、この5年間で総計922件の手術を行わせていただきました。

5年間の手術件数

計922件



H25年度の手術内容

計223件



手術症例の多くは、鼠径ヘルニア、胆嚢結石症、急性虫垂炎の3疾患で、これらで全手術症例の半数以上を占めております。悪性疾患や大きな手術を要す症例が多い大学病院やセンターとは異なり、これらの患者様をできるだけご希望に合わせてながら短期間で経過よく治癒させることが当院の大切な役割と考えております。

悪性疾患は多くはありませんが、癌に対する手術も例年約10～20件行わせていただき、手術に至らなかった患者様もふくめると、この5年間に約100人の患者様と手術だけでなく化学療法(抗癌剤)など共に闘病してまいりました。すでに進行著しく、手術や化学療法をがんばっていただいたのに薬石効乏しく、なくなられた患者様がおられる一方、非常に進行していたものの、あきらめない粘り強い治療を行った結果、再発なく元気にされておられる患者様を拝顔しますと、大学に劣らない最先端の治療内容で応えることの重要性を再認識するとともに、最先端の治療内容を維持してこれからも共に粘り強く闘病していくことが大事であると考えております。

また、緊急手術にもできるだけ対応させていただくことを着任当初より心がけており、手術室スタッフ等の協力のうえで、毎年約30件、5年間で149件の緊急手術を行ないました。

今後も引き続き、緊急症例に対してもできるだけ対応していきたいと思っております。すべてに満足いただける治療は難しいことですが、良性、悪性にかかわらず、小さい大きにかかわらず、当科での治療(手術)を選ばれた患者様には、できるだけ満足いただける治療となりますよう今後も精一杯努力を続けていこうと思っております。